

峯澤です。

千葉から離れて3ヶ月、久しぶりの山行報告です。

【行動日】4月12日

【ルート】谷川岳→一ノ倉岳→芝倉沢

【登山方法】山スキー

【メンバー】CL 菊池、SL 鈴木（秀）、鈴木（玲）、池田、峯澤（記）

【天気】晴天！

【記録】天神平駅 7:30→避難小屋 8:40→谷川山頂 10:40→一ノ倉岳山頂 13:00→土合橋
15:20

谷川岳ロープウェイ駐車場に集合。

自分は愛知から、菊池先生&池田さんは千葉から、鈴木夫妻はキックオフ山行から直行なので静岡からとバラバラ場所から集合。

早々に準備を済ませてロープウェイのチケットを購入して天神平駅へ向かう。

天神平駅に着いたらさっそくアイゼンを装着。

ビーコンチェックもちゃんと行ってから、締まった雪を踏みしめて登山開始。

天気は晴天、最初は皆さん上着を着ていたがすぐに暑くなってレイヤリング調整をする。

天神尾根についてから少し傾斜は楽になるが、岩場も少しあり緊張しました。

アイゼン着けての岩場歩きはもう少し練習しないとですね。

天神尾根を過ぎたらまたずーっと登り…

傾斜によってフラットフィッティング、キックステップを使い分けて登っていく。

必死になって登っていくと谷川岳山頂が見えてきた。

後ろを見返すと大勢の登山者達が登ってくる。

やはり晴天の日曜日、人気の谷川岳とあって登山者の数は凄い。

しかしながら、スキーを背負った人は1割程度。

せっかく登ったのに滑らないなんて勿体ない、と山スキーヤーは思ってしまう…

雪の量は例年に比べ少なく（雨のせい？）アイゼンを外した方が一ノ倉岳までは歩き易そうだったので、アイゼンを外して登っていく。

一ノ倉岳までは岩場が多くスキーを背負って登るのには少しハラハラした。

とはいえなんだかんだで一ノ倉岳山頂に到着。

さっそく滑走準備を始める。

芝倉沢へのドロップは少し急傾斜だったが、皆さんさすがの腕前なので臆することなく滑りこんでいく。

良い感じのザラメで非常に気持ち良い。

新生活で慌ただしくなかなかスキーに行けなかったフラストレーションがようやく解消された。

楽しい滑走を続けていくと下にはデブリーランドが広がっていた。

デブリーを抜けるのは緊張しました。

デブリー内で一回転倒しちゃってリカバリーが大変でしたがなんとか通過。

雪質も少しずつストップスノーになってきて板が走らなくなってくる…

傾斜がほとんどなくなってきたところからはストックで必死に漕ぎながら土合橋まで到着。いつもならスノーブリッジがあるところも切れてしまっているらしく、雪の少なさを実感した芝倉沢でした。

<以下峯澤感想>

久しぶりにちば山の皆さんとご一緒できて本当に楽しかったです。

今年は色々と変化の年でしたが、ちば山の方々との関係は変わらず続けていきたいですね。

滑走技術に関しても菊池先生からお褒めの言葉を頂き、練習した甲斐がありました。

愛知でも経験と技術を磨いて頑張っていきますので、これからもよろしくお願いします。



谷川岳をバックに



滑走開始！



